

# 建設の施工企画

2006年6月号 No.676

## 目次

### リサイクル 特集

1	グラビア INTERMAT 2006	
3	巻頭言 固体系廃棄物等のリサイクルの課題と展望	嘉門 雅史
4	建設リサイクルに関する今後の動向	田中 倫英
8	千葉県における建設発生木材リサイクル促進行動計画	望月美知秋・佐伯 良知・太田 敏之
12	山武町バイオマスタウン構想	篠山 浩文
19	土砂混じり廃棄物選別プラントとリサイクル	
	—不法投棄廃棄物の原状回復事業—	吉岡 吉郎・西村 良平・大桑宗一郎
24	高流動エコセグメントの導入—下水汚泥焼却灰の高流動コンクリート二次製品への適用—	
	宇野洋志城・倉木 修二・伊熊 信男	
29	廃棄物焼却施設の解体技術「トランシッド・システム」	
	—ダイオキシン類ばく露防止への対応とリサイクル—	尾身 武彦
34	ずいそう 中欧旅行	谷本 道夫
35	ずいそう インドの石けん	三代 愛
36	交流の広場 超鉄鋼研究プロジェクト	
	—日本の超技術を日本ブランドの競争力に転化—	長井 寿
40	第57回JCMA 海外建設機械化視察団報告	
	フランス・パリ国際土木建設機械見本市ほか—INTERMAT2006—	
51	CMI 報告 現地発生材の空港舗装（路盤材）への適用性検討	山本 辰男
53	新機種紹介	広報部会
56	統計（2006年3月）	広報部会
57	行事一覧（2006年4月）	
60	編集後記	（三柳・岡本）

#### ◇表紙写真説明◇

#### 土砂混じり廃棄物選別プラントとリサイクル —不法投棄廃棄物の原状回復事業—

写真提供：株式会社鴻池組

青森県と岩手県の県境に産業廃棄物の不法投棄が確認されたのは平成11年、その量は国内最大規模の82万m<sup>3</sup>といわれている。岩手県と青森県は平成16年に原状回復事業を開始した。

選別プラントは岩手県側の土砂混じり廃棄物を選別するために建設

したもので、1日150トン以上の処理能力を有し、8年間で18万8,000トンの廃棄物を処理する。

選別は重機による1次選別、自走式振動スクリーンによる2次選別、手選別による3次選別からなり、廃棄物を粒度別・種類別に選別する。この施設で平成17年度に約3万1,100トンの廃棄物が選別され、その内約97%にあたる約3万100トンがセメント原料としてリサイクルされた。

写真は、キャッピングシートを捲り廃棄物を掘削撤去している状況ならびに自走式振動スクリーンにより廃棄物を2次選別している状況である（本文19～23ページ）。